

現在、板橋区役所だけでなく全国の地方自治体では『選択と集中』という言葉がキーワードになっています。これは、税収が今後更に逼迫し現在のままの資金繰りでは区財源は5年後には底を突くことも予想される中で、限られた財源を有効活用するためには最優先で行う施策の順番と金額を決めていこう、というものです。

これは、ある意味で生活に大変な影響を与えるものです。例えば、過剰な行政サービスであった施策の廃止を断行する。または道路清掃のように、今まで行政がお金をかけて行ってきたものを地域住民がかわりに清掃することで支出を抑える、などが考えられます。

一方で、削るばかりでなくどこかに集中投資をすることも重要です。例えば区内産業を育成し景気を良くする。または将来を担う子どもたちの教育へ集中投資して学力・体力を向上させ、将来の板橋区を背負って立つ人材を育成する、というものです。この塩梅は非常に難しいのですが、しかし一歩間違えてしまえば、今の生活も将来の生活もままならなくなってしまうのです。

これら喫緊の課題に対し、私は以下のように考え、動いています。まずは板橋区だけでなく東京圏、関東圏の状況を徹底的に把握し、日本経済と世界経済が区内に与える様々な影響を正確に予測すること。次に、その精査を区行政自身が自ら速やかに見抜く力と手段を養うこと。この2つです。

区勢を正確に把握するという点で、よく少子高齢化という言葉が聞かれますが板橋区では実はここ10年間子どもたちの人数は減っていません。むしろ増える年や地域もあります。また生活保護に関しては、不正受給者問題はあくまでも表層で、事の本質は(少子ではない)高齢化と、3世代同居の減少など家族の暮らし方の変化による高齢単身独居世帯の増加、精神疾患者の増にあります。

これらは常に正確に把握され、即座に対処されなければなりません。もはや「議員」は地域の名誉職ではなく専門職ですので、区職員に丸投げでなく自ら調査能力と判断基準を常に磨き続けなければなりません。

この3月、私は予算審査特別委員会において、この点に絞り総括質疑を行いました。それは、まずは区を取り巻く状況を正確に判断し「選択と集中」を行うため、GIS(地理情報システム)という最先端技術をフル活用する必要があること。次に、そこから見えた「現実」に即刻対処できる知力と財力を区が今すぐ身につけること。この2つです。

どうしても聞き慣れない言葉が多いので、「お前はどこで何をやっているんだ?」というお叱りを受けます。しかし現実この板橋区には、すぐそこにまで財政的かつ、暮らしや家族のあり方に難題が迫ってきているのです。

8月のゴーヤ収穫祭にはぜひいらしてください。これからも皆さんと楽しい日々をこの街で過ごしていけるよう、今年6年目となった議員活動に務めて参ります。

●災害対策と環境問題



近年の異常気象による災害は、区民の生活を脅かす深刻な問題です。災害対策強化の必要性を訴え続けているあずまお議員は、東京青年会議所板橋区委員会の一員として「e-防災マップ」作りにも加わり、優秀賞受賞へと導きました。3月表彰式と同時に行われたシンポジウムにも参加しました。

●里神楽

6月23日に成増アクトホールで行われた「第8回里神楽の夕べ」に、寿獅子舞とナレーションで参加しました。若者の地元離れ、古典離れが叫ばれて久しい昨今、板橋に伝わる伝統文化を後世に残そうと、自ら成増里神楽保存会に所属し、率先して継承と後継者育成に尽力しています。



●成丘通りクリーン作戦

毎月第一日曜日に成増で開催している町内清掃活動。最近では地元小中学生が積極的に参加するようになり、100名を超す規模になりました。いつもきれいな町に住む心地良さを一緒に体感しましょう。

- 次回予定 2012年8月5日(日) 午前8時～9時
- 集合場所 坂本あずまお事務所前
(成丘小学校正門近く)
- 参加資格 どなたでも参加自由

●板橋フットサルチーム結成へ

成人の運動不足解消、子供の発育強化、地域活性化と世代間交流を目指し、このたび板橋フットサルチームを作ろうと動き出しました。経験不問、参加者募集中です。応援団も大歓迎。まずはお気軽に見学をどうぞ!

- 初回練習日 2012年7月18日(水) 午後7時～
- 練習場所 板橋区立舟渡小学校 体育館
(板橋区舟渡3-6-15)
- 持ち物 動きやすい服、室内履き

